

イドム物流は、挑んでいく。
運び、つなぐことで、挑んでいく。

地域と企業、地域と人、
地域と地域、地域と社会を
運ぶことで、つなぎながら
物流からはじまる
未来を明るく照らす可能性を
つくり出していく。
運び、つなぐこと、それは
地域社会の未来を拓くこと。

まっすぐに、 挑む



写真はイメージです



株式会社高宮運送は、2025年4月1日付で 「株式会社イドム物流」に商号を変更いたしました。

SUENAGA Groupの一員となり1年が経過し、改めて社会における存在意義を見つめ直し、グループの目指す方向を示す社名を採用いたしました。また、社名の一部を「運送」から「物流」に変更したことは、単なる社名変更にとどまらず、総合的な物流サービスを提供することで、お客様のビジネスに貢献したいという強い意志の表れです。新社名とともに、社員一同気持ちを新たに、地域社会の皆様にとって必要不可欠な企業を目指し、邁進してまいります。

会社名 株式会社 イドム物流
本 社 広島県廿日市市宮内工業団地1-9
代表者 末長一範

設 立 年 月 日 2003年6月(創業:1999年3月)
主 な 事 業 内 容 冷凍・チルド・ドライ品などの
食品の輸送

サイトは
こちら



LOGOMARK

MIND

「イドム物流」の社名は、文字通り「挑む」を由来としています。社名に込めた想いは、SUENAGA Groupのグループ企業として、グループスローガンである「Challenge and Change」を念頭に、物流はもちろんあらゆる可能性に挑み、事業領域を拡大し発展することで、社会に活力をお届けすること。ローマ字表記「IDOMU」から「I DO」の文字を抽出し「I DO」を「私は挑む」と解釈しシンボルマーク化しました。車輪を思わせるデザインは、「イドム物流」が物流業において止まることなく挑み続け、未来に向け永続的に走り続ける様を表し、またスパイラルをもイメージさせるデザインは、常に新しい環境を目指し自らを向上し続ける企業であることを表現しています。

COLOR

紫は「自分の美学を大切に、慈愛・奉仕の心を持つ色」とも言われます。イドム物流は、個性(理念)を大切にしながら事業を極め、社会に愛されその一員として存在意義を発揮する企業を目指すことから、コーポレートカラーに平安時代より存在する桔梗色をベースとしたイドムパープルを設定しました。